



【中国産新物なめこ情報②】

丸松物産株式会社

先月号に引き続き、2013年産の新物なめこの情報について、以下追加報告致します。

- ① 栽培面積が昨年より25%減となっている模様。
- ② 生産農家では、近年の人件費高の影響から収入減となっている為、栽培意欲が減退。
- ③ なめこの収穫は、9月下旬から11月いっぱいまでの60日間において、約20日間毎に区切って3回行われますが、今年は、9月29日に開始されました。
- ④ 天候状況については、8月は大雨による水害、9月には高温の影響を受けており、更に10月中旬での情報では、寒暖の差が激しい日々が続いているとの事です。

以上の状況の中、弊社と致しましては、今年の新物生産事情は平年よりも、かなり深刻なものと感じており、特に工場での生産開始時期が、このような原料不足の影響を受けて、大幅遅れの10月15日に開始されました。その為、工場生産期間も平年より約2～3週間短縮されるものと予想されております。また、今年の輸出価格は、昨年と比較して最低でも10%の値上げは避けられないだろうと現地輸出者からの情報です。

【人民元の対ドル相場が「5時代」に接近 元高が輸出の足かせに(1)】

人民元は一定期間の調整を経て、10月に再び突破的な動きを見せた。中間値は前取引日のような新高値はつかなかったものの、10月24日午後2時頃、1ドル＝6.0808元にまで上昇し、最高値を更新した。

(1ドル＝)「5(元)時代」も目と鼻の先のように見える。外需の回復力が乏しい中、人民元の急上昇が輸出企業の利潤をさらに圧迫している。だが専門家は取材に、元上昇は輸出に一定の打撃を与えるが、これは政策決定者が元上昇容認姿勢を改めることを意味するものではないと指摘。「人民元の国際化の深まりと国内金利の自由化が加速する中、為替メカニズムの市場化をさらに加速する必要がある、現在は均衡値に戻るのを加速する時期だ」と述べた。

■元高の主因:ドル軟調

最近、米連邦準備制度理事会(FRB)の量的緩和縮小、米国の財政問題協議、楽観できない雇用統計がドル下落材料となっている。すでにドル指数は7月の84から79前後にまで下落。「人民元為替相場メカニズムは通貨バスケットを参考にした調節を強調し、人民元の寄り付き中間値もそうして形成されている。市場は通貨バスケットの構成を知らないが、ドル指数は通貨バスケットの趨勢を周りから観察するうえでの最良の座標だ。ドル指数が下落すれば人民元が上昇することは、過去の経験も示している」と国際金融問題の専門家、趙慶明氏は指摘した。

趙氏はさらに「為替相場の最高値更新は、市場の人民元上昇熱の再来を物語っている。8月に流動性の逼迫が多少緩和され、市場心理は下落予想から上昇予想へと再転換した。10月に入り、この予想はさらに強まっている」と述べた。

「人民網日本語版」2013年10月25日より抜粋

【新商品情報】

	商品名	タイ産コナッツミルク400ml	
	商品説明	コナッツミルクは、成熟した椰子の実の内側にある白い果肉をすりおろし、それに水を加えて濾過させた加工食品です。東南アジア料理には欠かせない食材であり、その独特の風味はタイカレーに代表される通り、香辛料の効いた料理、またはタピオカ入りのコナッツミルクなどのデザートにご利用されます。	
	主要原材料	コナッツ	
	賞味期限	製造日より2年	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、3日以内にお召し上がりください。	
			※調理例 タピオカ入りコナッツミルク

以上